

## 発生動向の概況

8 月中旬以降、手足口病やヘルパンギーナなど、夏季に流行する疾患の患者報告数が減少してきました。両疾患とも、例年よりも小規模な流行となっており、現在のところ県下各地で散発している程度です。

感染性胃腸炎の患者報告数は減少していますが、季節柄、細菌性の胃腸炎が増加しています。日頃から手洗いの励行や食品の温度管理などの食中毒予防に努めましょう。また、下痢、腹痛、嘔吐などの症状がある場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

無菌性髄膜炎の患者報告が続いており、その多くがエコーウイルス 13 型によるものと考えられます。次頁「病原体検出情報」に示すとおり、このウイルスに対する免疫を持つ人がほとんどいないため、今後の流行が懸念されます。手洗い・うがい等の感染予防を心がけましょう。詳細は愛媛県感染症情報センターホームページをご覧ください。

・感染症情報センター URL <http://www.pref.ehime.jp/040hokenhukushi/140eikanken/kanjyo/index.htm>

## 県内での感染症発生状況

全数把握感染症 今回、報告はありませんでした。

定点把握感染症 (数字は最新週の定点当たり報告数)

	愛媛県推移	流行地区	県内の傾向
感染性胃腸炎	➡ 2.9	県下全域	患者数は減少しているが、細菌性の胃腸炎は増加。
手足口病	➡ 1.2	新居浜・宇和島	流行のピークを過ぎ減少傾向。
ヘルパンギーナ	➡ 1.2	県下各地	例年どおりの推移で減少。
流行性耳下腺炎	➡ 1.0	東 予	長期にわたる流行が続くが、減少傾向。
流行性角結膜炎	➡ 2.3	東 中 予	成人で散発が続く。
無菌性髄膜炎	➡ 0.3	南 予	エコーウイルス 13 型によるものが散発。

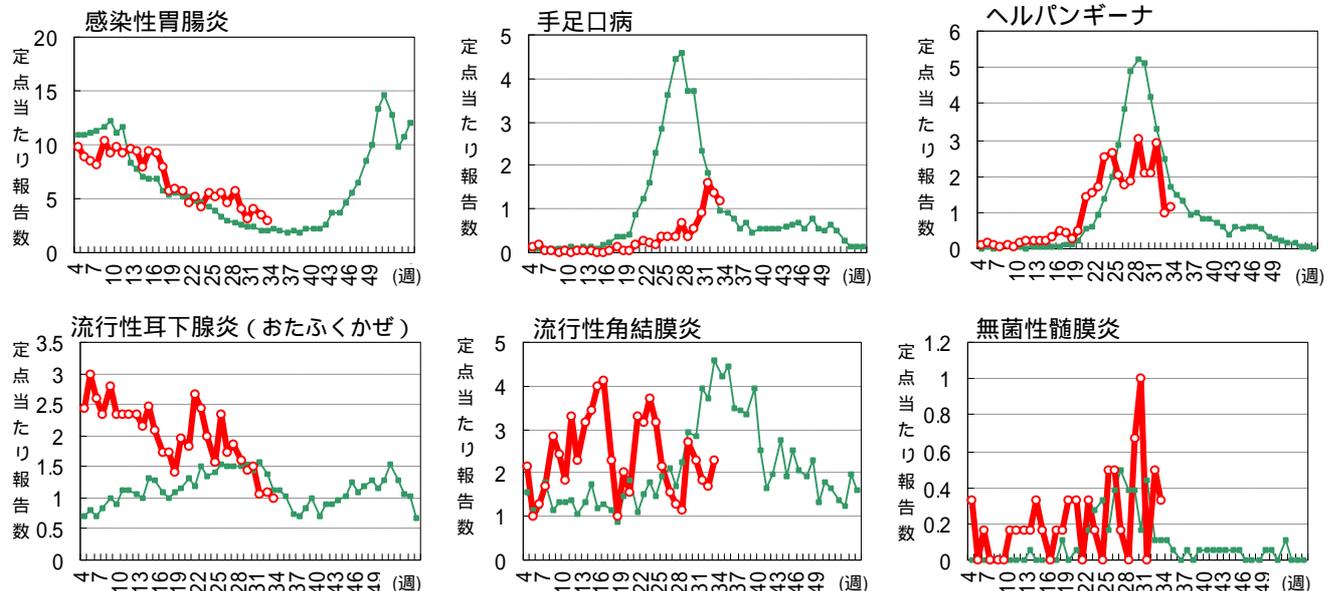
医療機関からの情報 (定点以外からの情報もお待ちしています。)

感染性胃腸炎 : 大腸菌による胃腸炎が散発。

細菌性髄膜炎 : 入院時すでに抗生物質を投与されており起病菌は明らかではありませんが、髄液培養で陰性、血液培養で H.influenzae (インフルエンザ菌) が検出されました。

無菌性髄膜炎 : エコーウイルス 13 型によるものと一部流行性耳下腺炎によるものですが、実数はもっと多いようです。

過去 30 週の動向 (細線: 過去 10 年の平均、太線: 過去 30 週の推移)

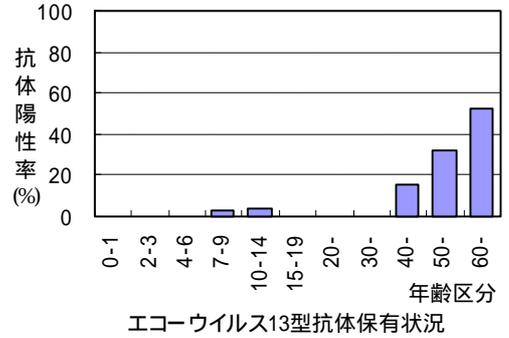


(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。  
本感染症情報に関するご意見、ご質問は [eikanken@pref.ehime.jp](mailto:eikanken@pref.ehime.jp) までお願い致します。

# 病原体検出情報

平成 14 年 8 月 21 日現在

無菌性髄膜炎や発疹症等からエコーウイルス 13 型が多数分離されています。このウイルスに対する住民の免疫状況を把握するため、2001 年に中予地区で調査に同意を得て採取した血清 239 件を用いて中和抗体価を測定しました。その結果、右図に示したように、30 歳代以下の年齢層ではほとんど抗体保有者がなく、40 歳以上では年齢が高くなるにつれて、陽性率が 15.4% から 52.0% に上昇していました。このように 30 歳代以下ではエコーウイルス 13 型に対する免疫をほとんど持っていないことから、新学期後も流行が続くことが予想され、また、新生児室等での院内感染の発生が懸念されますので注意が必要です。



## 過去 5 週 検出病原体

( 7 月 15 日以降採取検体 )

週	期 間	発 生 地 区	臨 床 診 断 名	検 出 病 原 体	検 体	例数			
29	7/15 - 7/21	新 居 浜	不明発疹症	エコー13	咽頭ぬぐい液	1			
		今 治	無菌性髄膜炎	エコー13	咽頭ぬぐい液	1			
		松 山 市	A 群溶レン菌咽頭炎	A 群溶レン菌	咽頭ぬぐい液	1			
			感染性胃腸炎	S R S V	糞 便	3			
				下痢原性大腸菌	糞 便	1			
			カンピロバクター	糞 便	1				
			無菌性髄膜炎	エコー13	髄 液	3			
			下気道炎	R S	咽頭ぬぐい液	2			
			不明熱	コクサッキーB4	咽頭ぬぐい液	2			
				R S	咽頭ぬぐい液	2			
不明発疹症	エコー13	糞 便	1						
30	7/22 - 7/28	新 居 浜	上気道炎	コクサッキーA4	咽頭ぬぐい液	1			
		西 条	無菌性髄膜炎	エコー13	糞 便	1			
		今 治	無菌性髄膜炎	エコー13	髄 液	2			
		松 山 市	A 群溶レン菌咽頭炎	A 群溶レン菌	咽頭ぬぐい液	1			
			感染性胃腸炎	S R S V	糞 便	2			
			無菌性髄膜炎	エコー13	髄 液	2			
					髄 液・糞 便	1			
			下気道炎	R S	喀 痰	1			
				コクサッキーA4	咽頭ぬぐい液	1			
			不明熱	R S	咽頭ぬぐい液	1			
				アデノ 5	咽頭ぬぐい液	1			
		不明発疹症	エコー13	糞 便	1				
		松 山	無菌性髄膜炎	エコー13	髄液・糞便・咽頭ぬぐい液	1			
今 治	無菌性髄膜炎	エコー13	髄 液	1					
	ウイルス性肝炎	エコー13	糞便・咽頭ぬぐい液	1					
31	7/29 ~ 8/4	松 山 市	感染性胃腸炎	下痢原性大腸菌	糞 便	1			
				サルモネラ 09	糞 便	2			
			無菌性髄膜炎		髄 液	2			
					糞 便	1			
					髄 液・糞 便	1			
			不明熱	エコー13	咽頭ぬぐい液	2			
			32	8/5 ~ 8/11	松 山 市	感染性胃腸炎	サルモネラ 09	糞 便	1
						無菌性髄膜炎	エコー13	髄 液	1
不明熱	R S	咽頭ぬぐい液				1			

## 月別病原体検出結果

## 臨床診断名別検出結果 ( 2002 年 6 月以降採取検体 )

	検体採取月	2002							合計
		3	4	5	6	7	8		
ウイルス	検出病原体								
	コクサッキーA4	1	2	3	4	2		12	
	コクサッキーA16			1				1	
	コクサッキーB2			1	2	4		3	
	コクサッキーB4			1	1	4		5	
	エコー9		1	1				2	
	エコー11	1	1	1	1			4	
	エコー13	2	2	11	32	6		51	
	インフルAソ連	3						3	
	インフルA香港	11	1					12	
	インフルB	10	2					12	
	R S	2			2	8	1	13	
	ムンプス	2	1		1	1		5	
	アデノ 1		2	2	1			5	
	アデノ 2	4	2	2				6	
	アデノ 3	2	2	1				5	
	アデノ 5	1	1	1	1	1		5	
	アデノ 37	1						1	
	単純ヘルペス 1			2	1			3	
電顕等									
ロタ	22	18	1	1	1		43		
アストロ		1	2				3		
S R S V	8	3	1	2	8		22		
アデノ	3		3	1	2		9		
ウイルス 計	71	37	22	29	59	7	225		
細菌	下痢原性大腸菌	6	3	3	4	5	1	22	
	サルモネラ 09					1	3	4	
	カンピロバクター	2	3		3	3		11	
	A 群溶レン菌	6	6	4	2	6		24	
細菌 計	14	12	7	9	15	4	61		

検出病原体	A 群溶レン菌咽頭炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	下気道炎	上気道炎	熱性けいれん	ウイルス性肝炎	その他	不明熱	不明発疹症	合計
コクサッキーA4		1			1				4		6
コクサッキーB2									2		2
コクサッキーB4				2					3		5
エコー11			1								1
エコー13		1	36		2		1	1	4	4	49
R S				5					6		11
ムンプス			1						1		2
アデノ 1					1						1
アデノ 5									2		2
単純ヘルペス 1						1					1
ロタ		2									2
S R S V		10									10
アデノ		3									3
ウイルス 計	17	38	7	4	1		1	22	4		95
下痢原性大腸菌		10									10
サルモネラ 09		4									4
カンピロバクター		6									6
A 群溶レン菌	8										8
細菌 計	8	20									28



愛媛県 定点把握4類感染症 2002年 第32週 (2002.8.5 ~ 8.11)

患者報告数	インフルエンザ	小児科定点										眼科定点		基幹定点					成人麻疹		
		咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	風疹	ヘルパンギーナ	麻疹 <sup>1)</sup>	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	急性脳炎 <sup>2)</sup>	細菌性髄膜炎 <sup>3)</sup>	無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 <sup>4)</sup>
伊予三島			12	4		3				5		6	-	-							伊予三島
新居浜	3	2	10	4	4	2	5			7		3	-	1							新居浜
西条		1	19	4	2	2	1	1		1		9	-	-	-	-	-	-	-	-	西条
今治		6	26	1	7		5					7	-	6				1			今治
松山市	4	5	34	4	19	2	6			19		3	-	4	-	-	-	-	-	-	松山市
松山		1	4	1	8	2	1					3	-	1							松山
大洲		3	6	5	2		3			3		1	-	-	-	-	-	-	-	-	大洲
八幡浜		1	3	8			4					3	-	-			1				八幡浜
宇和島			5	3	6		1			1		4	-	-	1	2					宇和島
愛媛県	7	19	119	34	48	8	29	1		36		39	-	12	1	3	1				愛媛県
1週前	8	45	158	47	63	12	36			114		41	-	13			2				1週前
2週前	5	44	125	57	35	11	51			82	2	59	-	16			6	4			2週前
3週前	17	67	161	32	21	20	33			81		56	-	19			4	1			3週前
-6ヶ月				2											1						0
-12ヶ月			6	2	4	2	23	1		2		1				1					1-4
1			17	11	11		6			4		3				2	1				5-9
2	2		19	6	12	1				7		2									10-14
3	2	1	10	7	5	2				5		7									15-19
4	2	5	11	2	9					7		2									20-24
5		4	12	1	5	2				4		10									25-29
6	1	4	10	1	1							5									30-34
7		2	9									2									35-39
8			4	2	1							4									40-44
9			4									2									45-49
10-14			1	6								4		1							50-54
15-19			1	1																	55-59
20-29 <sup>5)</sup>			10			1								2							60-64
30-39														2							65-69
40-49														4							70-
50-59														2							
60-69														2							
70-79 <sup>6)</sup>														1							
80-																					

定点当たり報告数

伊予三島			4.0	1.3		1.0				1.7		2.0	-	-							伊予三島
新居浜	.8	.5	2.5	1.0	1.0	.5	1.3			1.8		.8	-	1.0							新居浜
西条		.3	6.3	1.3	.7	.7	.3	.3		.3		3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	西条
今治		1.2	5.2	.2	1.4		1.0					1.4	-	6.0			1.0				今治
松山市	.4	.5	3.4	.4	1.9	.2	.6			1.9		.3	-	1.3	-	-	-	-	-	-	松山市
松山		.2	.8	.2	1.6	.4	.2					.6	-	1.0							松山
大洲		1.5	3.0	2.5	1.0		1.5			1.5		.5	-	-	-	-	-	-	-	-	大洲
八幡浜		.3	1.0	2.7			1.3					1.0	-	-			1.0				八幡浜
宇和島			1.3	.8	1.5		.3			.3		1.0	-	-		1.0	2.0				宇和島
愛媛県	.2	.5	3.1	.9	1.2	.2	.7	.0		.9		1.0	-	1.7	.2	.5	.2				愛媛県

- 1) 成人麻疹を除く。 2) 日本脳炎を除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病は除く。  
 5) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。 6) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。

(参考) 保健所別定点数

定点数	愛媛県	伊予三島	新居浜	西条	今治	松山市	松山	大洲	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	64	5	7	5	8	16	8	3	5	7
小児科定点	39	3	4	3	5	10	5	2	3	4
眼科定点	7	-	1	-	1	3	1	-	-	1
基幹定点	6	1	1	-	1	-	1	-	1	1

注) 表中の報告数は8月14日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。



全国 定点把握4類感染症 第31,32週 (2002.7.29~8.11)

(定点当たり報告数)

	インフルエンザ	小児科定点											眼科定点		基幹定点							
		咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	風疹	ヘルパンギーナ	麻疹 <sup>1)</sup>	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	急性脳炎 <sup>2)</sup>	細菌性髄膜炎 <sup>3)</sup>	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 <sup>4)</sup>	成人麻疹	
31週	愛媛県	.2	1.2	4.1	1.2	1.6	.3	.9			2.9		1.1		1.9				.3			
	近畿県	香川県	.2	.3	1.9	.5	2.5	.3	.9			1.1	.1	1.2		2.3						
		徳島県	.1	.1	.7	1.3	1.4	1.3	.2	.7	.2	2.1		1.0		1.0						
		高知県	.3	.3	1.4	.7	1.6	.1	1.2			3.4		.5		2.7			1.8	.3		
		岡山県	.0	.3	2.0	.7	6.5	.1	.7	.0	.2	.8	.1	2.4		2.3			3.3	.3		
		広島県	.3	.4	2.5	.5	2.1	.1	1.0	.0		1.2	.1	1.3	.1	1.4			1.3	.2		
		山口県	.1	1.0	4.1	1.0	.5	.4	1.3		.0	1.2	.0	1.5		1.1				.1		
	大分県	.1	1.0	4.4	1.8	.1	.1	1.1		.0	2.8		2.9		.4			.2				
	全国	.0	.2	.5	2.4	1.1	1.7	.3	.8	.0	.0	2.8	.1	1.3	.0	1.3	.0	.0	.4	.1	.0	.0
	週	北海道	.0	.2	1.0	.9	1.5	1.7	.3	.6	.0	2.1	.0	1.0		1.3						
東北		.0	.1	.3	1.9	1.7	2.7	.3	.8	.0	4.6	.2	3.0		.8			.1	.1	.0		
関東		.0	.2	.3	2.1	1.1	1.7	.3	.8	.0	2.8	.1	1.0	.0	2.0	.0	.0	.1	.1	.0	.1	
甲信越北陸		.0	.4	.5	3.2	1.2	1.2	.5	.8	.0	3.7	.1	1.3		1.0			.5	.3	.0		
東海		.2	.5	2.2	1.2	1.8	.4	.9	.0	.0	3.4	.2	.8		.5	.0		.6	.1	.0	.0	
近畿		.0	.3	.3	2.3	.9	1.8	.2	.8	.0	3.0	.1	1.1	.0	.7		.0	.4	.2			
中国四国		.0	.2	.6	2.7	.8	2.5	.2	1.0	.0	1.6	.0	1.4	.1	1.5			1.0	.2			
九州沖縄		.0	.2	.6	3.4	1.0	.3	.1	1.0	.0	1.8	.0	1.6	.1	2.0		.0	.3	.1	.0		
32週	愛媛県	.2	.5	3.1	.9	1.2	.2	.7	.0		.9		1.0		1.7		.2	.5	.2			
	近畿県	香川県	.1	.2	2.2	.4	1.6	.2	.9			1.1		.7		.7						
		徳島県		.3	1.8	1.1	.9	.2	.8			1.4		1.4	.3	1.5				.2		
		高知県	.3	.4	1.9	.6	1.3	.1	.7			2.8		.4		3.3	.1		.3	.4		
		岡山県	.0	.3	2.5	.8	4.0	.3	.8	.0	.0	.6	.1	2.3		1.4			2.8	.5		
		広島県	.5	.3	2.5	.6	2.4	.0	1.0	.0		1.1	.0	1.6		1.2		.0	.6	.4		
		山口県	.1	1.2	3.1	.8	.7	.2	1.5			1.2		.9		1.1				.1		
	大分県	.0	.1	.7	4.3	1.1	.2	.1	1.3		.0	2.7	.1	2.6		.4						
	全国	.0	.2	.4	2.1	.9	1.2	.2	.8	.0	.0	2.0	.1	1.2	.0	1.3	.0	.0	.3	.2	.0	.0
	週	北海道	.0	.1	.4	1.2	1.6	1.4	.2	.7	.0	1.5	.0	.6		1.0						
東北		.1	.2	1.8	1.2	1.8	.3	.8	.0	.0	3.9	.1	2.8	.0	1.0		.0	.1	.1			
関東		.0	.2	.3	1.7	.7	.9	.3	.7	.0	1.6	.1	.8	.0	2.1			.1	.1	.0	.0	
甲信越北陸		.0	.3	.4	3.2	1.0	1.1	.3	.8	.0	2.7	.0	1.5	.0	1.1		.0	.6	.4	.0	.1	
東海		.2	.3	1.9	.9	1.4	.3	.9	.0	.0	2.3	.1	.9	.0	.5		.1	.6	.1			
近畿		.2	.4	1.9	.8	1.4	.2	.8	.0	.0	2.3	.0	1.0	.0	.8		.0	.4	.2			
中国四国		.2	.4	2.6	.7	2.0	.2	1.0	.0	.0	1.2	.0	1.4	.0	1.3		.0	.4	.2			
九州沖縄		.0	.3	.6	3.1	.7	.3	.1	1.0	.0	1.5	.0	1.5	.0	1.5		.0	.2	.2		.0	

1) 成人麻疹を除く。

2) 日本脳炎を除く。

3) 真菌性を含む。

4) オウム病は除く。

# 愛媛県 結核発生状況速報 2002年 7月

## 新登録患者数

		活動性結核								マル初* (別掲)	非定型 抗酸性 (別掲)
		総数	肺結核活動性					肺外核 活動性	治療中		
			総数	喀痰塗抹陽性			その他の 結核菌 陽性			菌陰性 その他	
				総数	初回 治療	再治療					
保 健 所 別	伊予三島										1
	新居浜	1	1	1	1						
	西条	2	1	1	1						
	今治	6	6	4	3	1		2		1	1
	松山市	16	9	4	4		2	3	7	1	3
	松山	5	4	1	1			3	1	2	1
	大洲	2	1	1	1				1		
八幡浜	4	3					3	1			
宇和島	2	2	1	1			1			3	
愛媛県合計		38	27	13	12	1	2	12	11	4	9
年 齢 別	0-4									1	
	5-9									1	
	10-14										
	15-19									1	
	20-29	1	1					1		1	
	30-39	5	4					4	1	-	
	40-49	3	3	1	1			2		-	
	50-59	5	3	2	2			1	2	-	
	60-69	8	7	5	4	1	1	1	1	-	5
	70-	16	9	5	5		1	3	7	-	4
年齢不詳										-	
月 推 移	今月	38	27	13	12	1	2	12	11	4	9
	先月	22	20	15	14	1	1	4	2	9	4
	先々月	31	22	10	8	2	3	9	9	6	6
愛媛県累計(2002年)		205	150	71	59	12	26	53	55	35	33

## 2001年新登録患者数(速報)

愛媛県 総数	329	256	111	94	17	53	92	73	59	66
--------	-----	-----	-----	----	----	----	----	----	----	----

\* マル初 結核の感染が強く疑われ、発病予防のための治療(予防内服)を受けているもの。

## 新登録患者数年次推移

		2002年	2001年(速報)		2000年		1999年		1998年	
		7月現在	患者数	り患率	患者数	り患率	患者数	り患率	患者数	り患率
保 健 所 別	伊予三島	9	27	28.7	25	26.4	22	23.1	35	36.6
	新居浜	12	23	18.3	35	27.9	38	30.1	35	27.6
	西条	16	33	28.8	31	27.1	37	32.2	42	36.5
	今治	20	33	17.5	45	23.8	37	19.4	41	21.4
	松山市	70	95	20.0	110	23.2	133	28.3	121	25.8
	松山	23	37	20.8	41	23.0	56	31.4	54	30.2
	大洲	11	12	17.3	16	22.9	26	37.1	30	42.6
八幡浜	24	24	23.1	50	47.6	33	31.0	38	35.4	
宇和島	20	45	31.8	46	32.2	57	39.3	57	38.9	
愛媛県		205	329	22.1	399	26.7	439	29.3	453	30.2

り患率は、人口対10万人